

玉造小学校見守り隊誕生！

2月9日（月）玉造小学校において『玉造小学校地区児童・生徒見守り隊』発足式が開催されました。

これは、子どもたちの下校時の安全を地元住民の手で高めようと結成されたものです。青少年育成行方市民会議玉造小学校地区協議会（稲葉智之会長）が中心となり、行方警察署の指導を受け、区長さんをはじめ、地区の皆さんの協力により発足しました。240名の隊員の皆さんは下校時に家の前で声かけをするなど子ども達を見守っていく予定です。

会長の稲葉智之さんは、子ども達に「お互いにあいさつを交わし地域のみなさん（おじいちゃん・おばあちゃん）と仲良くなってもらいたいと思います。明るい地域にしていきたい」と話しました。玉造地区がモデルになりこの活動がほかの地域に波及していくことが期待されます。



4年連続で受賞しました 茨城県下水道促進週間コンクール



1月22日（木）、茨城県庁において平成20年度茨城県下水道促進週間コンクール表彰式が行われ、新聞の部で坂本英織香さん（大和二小6年）が知事賞準特選を受賞し表彰されました。

このコンクールは下水道の理解と普及の促進を目的として、県内小中学生を対象に、絵画・ポスター・作文・書道・標語・新聞・写真の6部門で行われるもので、行方市からは407点の応募がありました。

坂本さんは、4年連続で知事賞を受賞「今年も受賞できてうれしいです。ありがとうございました。行方市は下水道の普及率が県内でもまだまだ低いです。これからももっともっと普及して欲しいと思います。」

と受賞の喜びを語ってくれました。

また、作文の部で浜田征樹さん（麻生小5年）、新聞の部で河野遥南さん（三和小4年）、標語の部で英保佑佳子さん（羽生小6年）がそれぞれ佳作を受賞しました。

おめでとうございます。



知事賞準特選を受賞した作品

めざせ！「木工の技」チャンピオン



麻生第一中学校3年の山口雄司くんが、1月24日・25日に行われた「第9回全国中学生創造ものづくり教育フェア」に出場し、足立区長賞（第4位）を受賞しました。

この大会は、中学生による木をつかったものづくりの技術・技能を競う全国レベルの大会で、生徒が技術・家庭科で学習したものづくりの技術を発揮する場となっています。

県大会で1位となり、関東甲信越大会を経て全国7ブロックから選抜された16名の選手が、与えられた所定の材料を使用し、4時間以内に課題（生活用品等を整理収納できる製品）にしたがって作品を製作・プレゼンテーションを行う方法で競技が行われました。

「全国大会に向けて1ヶ月程練習を行い、最初は6時間程度かかりましたが、本番では余裕を持って製作することが出来ました。終わったときは、満足できない部分もありましたが、出来上がって良かったです。将来は機械関係の勉強がしたいと思います。」と話してくれました。



全国第4位となった作品

ワールドキャラバン

行方市国際交流協会

茨城県では3名の国際交流員がさまざまな事業に参加し自国の文化を紹介しています。

今回は行方市国際交流協会が実施主体となり、オーストラリア出身のアンバー・チャンさんを迎えワールドキャラバン事業が行われました。

行方市では初めての取り組みでしたが、参加した小学生は、オーストラリアの建国の歴史、自然などの紹介を興味深く聞いていました。また、学校の制服を着てみたり、踊りで遊んだりして、短い時間でしたがオーストラリアの文化に触れることができました。



新エネルギー教室

1月16日（金） 津澄小学校の4・6年生を対象に新エネルギー教室が開催されました。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素削減に有効な太陽の光や風力などの自然エネルギーをはじめとした新エネルギーが、なぜ大切かをスライドを使って勉強したあと、それぞれの生徒がプラスチックの板にペンで下書きをし、最適と思う形状の羽をはさみで切り抜き風車を製作、うちわで扇いで発電を確認したり、発電した電気で模型を動かしました。

今回の事業を通し、電気を作ることの大変さ、大切さを理解することができました。



マタニティスクール

胎児期から生活習慣病予防

病院で「体重を増やし過ぎないように」と言われたけど、お腹の赤ちゃんを育てるのに食べなくてはまずいのでは？そう思っても、又言われるのが嫌だから健診の日には朝食抜き、体重計にのる前に可能な限り服を脱ぐ・・・なんてことでいませんか。或いは逆に「もっと食べなさい」と言われて困ったことはないですか？更に血圧や尿糖・尿蛋白・貧血等が加わるとどうしたらよいかわからなくなってしまうですよ？



マタニティスクールでは妊娠週数や実態に合わせながら、妊婦さんも胎児も将来生活習慣病にならないようにするために、何をどの位摂れば良いのか等、具体的に分かりやすく学んでいます。

今後も、赤ちゃんの健康的な成長を願い、妊娠に関して悩む方々に情報の提供・相談を実施する予定です。

内容

- Aコース：妊娠中の栄養
(妊婦とお腹の子のために必要な栄養の摂り方)
- Bコース：妊婦体操・お産の進み方・出産の準備
- Cコース：母乳栄養とおっぱいの手入れ・家族計画・パパの妊婦体験・父親の役割

◇A・B・Cの異なる内容のコースを3ヶ月1サイクルで行います。

◇A・B・Cのうち1回だけの参加もOK

お問合せ・申込はお気軽に

★健康増進課（北浦保健センター）

☎ 0291(34)6200 まで

現在の銘柄産地等の指定

◇銘柄産地

かんしょ（麻生地区）
エシヤレット（玉造地区）
いちご（玉造地区）
セリ（広域）
みず菜（北浦地区）

◇銘柄推進産地

わさび菜（市全域）



平成17年に5件の農家で栽培がはじまった「わさび菜」。北浦鉾頭会議農業活性化委員会のメンバーと生産者、市農業振興センターやJAなめがたなどの関係機関が一体となり、導入から普及に努めました。栽培法や販売法など山積みだった課題を克服し、初出荷から3年を向かえた昨年4月、行方市わさび菜部が設立されました。



消費者ニーズに合った商品づくり、競争力のある産地の育成を目指し活動を進めてきた結果、このたび、わさび菜が茨城県の銘柄推進産地に指定されました。行方市わさび菜部の堀一雄部長は「競合産地も増えて厳しさもあるが、これまでの取り組みを発展させ、銘柄産地指定に向けて努力したい」と話してくれました。わさび菜が、銘柄産地に指定されれば、行方市誕生後初の作物。今後の活動に期待が寄せられています。

『わさび菜』が銘柄推進産地に指定されました

総務省茨城県テレビ受信者支援センター（愛称『デジサポ茨城』）の業務開始

－茨城県における地上デジタル放送に関する受信相談体制を整備－

総務省では、2011年7月の地上デジタルテレビジョン放送への完全移行に向けて、2月2日に「水戸市南町3-4-14」に「総務省茨城県テレビ受信者支援センター」を開所しました。

テレビ受信者支援センターでは、テレビ受信者の皆さまに円滑に地上デジタル放送に移行していただくよう、デジタル化に関する相談対応や受信実態の調査、さまざまなアドバイス提供など、地域実情に応じた「受信者サポート」を行います。

テレビ受信者の皆様からのお問合せについては、

「総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」

（地デジコールセンター）において一括して受け付けます。

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

（地デジコールセンター）

（電話）0570-07-0101

（受付時間）平日 9時～21時

土日・祝日 9時～18時

（地デジコールセンターとテレビ受信者支援センターは、相互に連携・協力の下、地上デジタル放送の普及推進を図ります。）

『いばらき水環境フォーラム』

行方市の水環境保全運動を報告

霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼、河川の水環境を保全していくための、市民・企業・行政といった3者連携強化や市民団体間のネットワーク形成を図ることを目的に、「いばらき水環境フォーラム パートナーシップで進める水環境保全」が2月5日に土浦市民会館大ホールで開催されました。

行方市からも家庭排水浄化推進協議会会員と水質監視員が合同研修で参加。家庭排水協機山会長が行方市の水質浄化運動をパネラーとして報告し、長く活動していてもなかなか改善されない霞ヶ浦の水質の現状や、ひとり1人の毎日の責任ある行動が求められていることを訴えると会場の参加者も共鳴していました。参加団体の活動や、パートナーシップのあり方を研修した参加者は、「参考にして今年の水環境保全運動へ繋げたい」と話していました。

環境保全・緑化活動紹介

今月の地域の環境保全・緑化活動紹介は・・・（ごみがごみを生まないように・・・）行方市在住の匿名希望さんで、ごみを拾っての独り言を紹介します。「気持ちよく毎日散歩をしたいためとはいえ、毎日同じ道を歩いて、なぜごみを毎日拾っているのだろう?」「どうせ捨てるのなら、目立つところに捨ててくれればいいのに・・・きっと人は良心があるからここなら捨ててもわからないところへ捨てるのね・・・」「こんなに犬の糞ばかり落ちている道路・・・東京では必ず犬を散歩させるときには、ビニール袋と割り箸を持って歩くのに田舎は持って歩いている人がいない・・・飼い主のマナーに聞きたい」

ごみがごみを呼ばないようにという気持ちで拾い続けてはや20年・・・で拾ったものは・・・→ビニール袋に入れたごみ、マンガ本、コーヒー缶、小型ラジオ、ホイールキャップ、カミソリ、紙おむつ、靴、たばこの吸殻、なんでこんなところに!・・・時には田んぼの中まで入って・・・その日に落ちていたごみ日記までつけるようになりました・・・対応策も考えてみるのですが・・・

○ごみ捨て禁止の看板をもっと増やす

○一日一拾いをみんなが目指せば・・・きっと



行方市のこの美しさをずっと保つために・・・がんばっていきます

第3回なめがた環境保全 フォトコンテスト

移動展示会を実施中



2月1日、霞ヶ浦ふれあいランドにおいて表彰式がおこなわれました

環境保全行方市民会議は市民の環境保全意識を高めてもらおうと、第3回なめがた環境保全フォトコンテストの入賞作品を市内の公民館等において移動展示を実施しています。近くへおこしの際は是非ご覧ください。

今後の移動展示日程

2月27日から3月 8日まで	北浦公民館
3月10日から3月22日まで	麻生公民館
3月24日から4月 2日まで	霞ヶ浦環境科学センター 「展示交流広場」 (土浦市沖宿町1853)

※入賞作品は行方市HPにも掲載しています。

環境一口メモ

「春の最初の花」という意味を持つプリムラは、花を育てるのはめんどろでいや!と決め付けている人の心を変えてしまう花です。

手がかからず、寒い冬でも比較的簡単に育てることができるからです。木々や花々に優しく接することは、人にもやさしくなれ、寛大な気持ちで接することができます。どこか調子が悪いと、とかく消極的になりますが、プリムラは生きる喜びと、やる気を与えてくれます。

ちなみに花言葉は「会話がはずむ」です。

